

5. 協同活動ハイライト（令和7年度）

「安心」「笑顔」の種を蒔き、 未来へ「つながる」実をつくろう

このメインテーマには、組合員をはじめ地域の皆様から、「JA兵庫南があって良かった！」と言っていただける協同組合をめざして全役職員が一丸となって業務に取り組む意志を込めています。

I. 安心して続けられる農業の実現（地域営農振興計画）

販売力の強化

米価格の高止まりが続き、依然として情勢は不安定です。JA兵庫南では、生産者の方から集荷したお米の一部を直売米として確保し、地域の皆様へ直接お届けできるよう直売所での販促活動などに取り組んできました。今後も、地元のお米を皆様にお届けする地産地消を振興してまいります。

また、新たな果樹ブランド立ち上げに向けて、ぶどう研究会を設立いたしました。直売所での販促イベントを通じた栽培品種のPRや、講習会や意見交換会を開催し、栽培暦を作成するなどの活動に取り組んでいます。ぶどうのブランド化と品質向上を図るため、品質確認を含む意見交換会を今後も定期的に開催していきます。



みどりの食料システム戦略に沿った化学肥料削減への取り組み

みどりの食料システム戦略に沿った化学肥料削減への取り組みとして、生産農家の協力の下、ピーナツ皮やみりんカスを混ぜた籾殻堆肥の製造試験を実施しました。製造した堆肥については春野菜に向けて実証実験を行う予定です。

また、ヘアリーベッチやれんげなどの緑肥を活用した有機肥料による農作物づくりにも引き続き取り組んでおり、栽培面積を確保しています。

環境に配慮した肥料を通じて、これからも地球に優しい農業を実践してまいります。

	ヘアリーベッチ	れんげ	合計
栽培面積	103.5ha	50.6ha	154.1ha

組合員の高齢化、労働力不足に対する取り組み

地域農家が直面する労働力や後継者不足の問題に対して、地域の人材とのマッチングを進めています。具体的には、農業求人サイトの利用拡充を図り、農業関連の労働者不足を補うために、JA関係の募集も含めた農業関連求人掲載件数は74件に達しました。

また、援農ボランティアの取り組みについては、延べ33名のボランティアが登録されています。これらの活動を通じて、地域農業の持続可能な発展に向けた人材確保に努めています。

鳥獣害対策の推進

管内において畑の農作物を狙う鳥獣害が多発しており、被害を抑えるため、組合員の要望に即した対策資材の予約を受け付けました。電気柵および関連機器の購入金額の半額を助成する「獣害被害防止対策支援事業」も組合員に向けて引き続き提供し、組合員の獣害対策を後押ししていきます。

安心・安全な食の提供

農産物の安心・安全を図るため、直売所出荷登録生産者には4月から5月にかけて農業講習会を実施いたしました。参加できなかった出荷者に対しても追加で講習会を行い、全員の受講を徹底しました。また、ピックアップした加工品出荷者へは訪問点検を行い、衛生管理に努めています。

営農指導体制の確立・強化

営農渉外活動に関しては昨年度の情勢を受け、米集荷に向けた声掛けを中心として、適期営農指導、情報提供といった訪問活動を行いました。

また、成長効率化プログラムを通じて営農渉外の体制整備について協議しました。営農指導強化プランの見直しや育成プランの確立を通じて出向く営農指導体制を強化し、営農相談窓口の充実を図ります。

Ⅱ. 笑顔あふれる地域づくり

次世代・若年層の組合員との関係強化

地域の学校や団体が行う食育活動や農業体験、環境学習などを支援し、次世代を担う子どもたちに「食」と「農」の大切さを伝えることを目的とした「ふぁ～みん食農教育支援金」において、本年度も新規団体6団体を含めた71団体に申請いただきました。

来年度も農業を身近に感じていただけるような体験の場をこれからも作っていきます。



学校との連携

高校生の視点から特産品の活用やJAの課題を探究してもらう「探求学習アドバイザー」として、加古川南高等学校の皆様にご協力いただき、課題解決に向けて協議しました。

また、摂南大学の学生の方々にも、施設見学や生産者視察を通じて、これからの農業について考えていただきました。今後も次世代が農業に関心を持ち、関わる機会を増やしていきます。

組合員組織活動の活性化と連携強化

准組合員の意思反映と運営参画を促進する取り組みとして、准組合員によるJA利用者懇談会を7回実施しました。これによりJAの事業に対する理解を深め、利用促進に努めています。

相談機能の充実

JAトータルサポートセンターを運営し、相談機能の拡充と拠点網の強化を図ることで、より地域に密着した総合的なサポート体制の構築を行っています。また、ローンプラザオフィス加古川・明石にて年間9回の休日相談会を開催し、平日にご来店が難しい利用者の方へ相談機会を提供しています。

Ⅲ. 次代へつながる経営改革の実践

組合員の増加

正組合員数累計 13,868名
准組合員数累計 53,506名となり、
3月末の組合員総数は67,374名となりました。



組合員との対話強化

生産者の意見や要望を伺いながら情報提供を行うことを目的に、常勤役員と経済担当職員による担い手訪問を行っています。対話を通じて得られた情報を元に、よりよい農協運営を構築していきます。

デジタル技術の活用

Wi-Fiを全支店に設置し、Web面談ができる環境を整えました。共済事業ではオンライン面談が完全導入されており、いずれ信用事業などの他事業でも利用できるよう対応中です。

優秀な人材確保のための雇用施策

昨年度大きく見直した新ルールのもとで、新たな登用試験・役員面接を実施し、いままで大きく貢献していただいた契約職員に対し、正職員登用を行っています。仕事への取り組み状況を処遇へ反映できる仕組みづくりを行い、職員一人ひとりの成長と組織の強みを活かして、利用者へのサービス向上に努めていきます。

総合的な事業による農業振興・地域活性化支援

支援項目		支援内容	7年度実績
営農継続特別対策	JA出荷米に対する支援	令和7年度米出荷に対して 30kg当たり450円(15円/kg)	1,466件 40,600千円
	大麦・小麦JA出荷に対する支援	令和7年度大麦・小麦出荷に対して 30kg当たり60円(2円/kg)	62件 3,986千円
ハウス導入支援事業		建設資金の一部を助成 導入資金(税抜)の1/3【上限50万円】	1件 500千円
獣害被害防止対策支援事業		電気柵と関連機器の購入代金(税抜)の1/2 【上限3万円】	151件 2,866千円
草刈機(ハンマーナイフモア)導入支援事業		ハンマーナイフモアの購入代金(税抜) の1/5【上限10万円】	13件 1,283千円
土壌分析支援事業		土壌分析費用(税抜)の1/2	293件 245千円
ふぁ～みん食農教育支援金		食農教育への取り組みを行う活動に対し、 費用から収入を差し引いた金額 【上限5万円】	71件 3,066千円
農業融資(アグリマイティー資金等)		0%金利 (農機具をJAで購入等の条件あり)	27件 78,720千円



ご案内

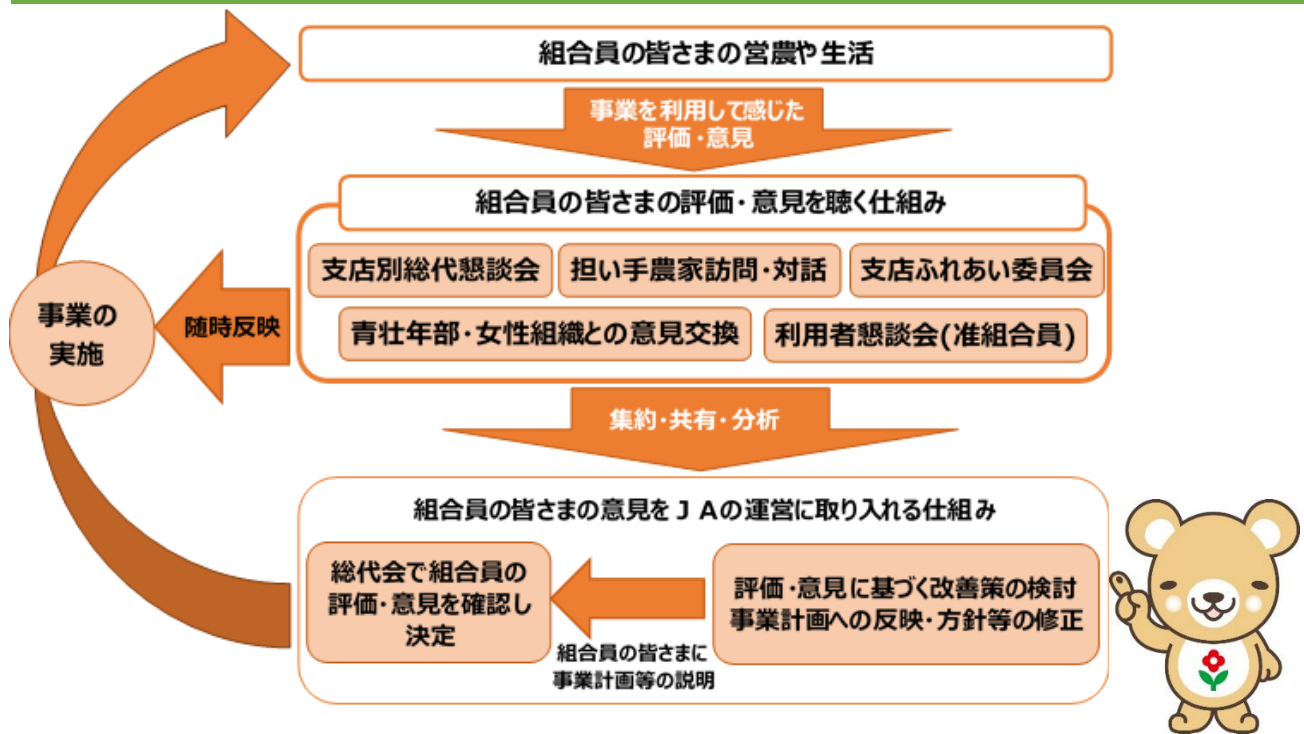
イベント、商品紹介、事業等については、
当JAの広報誌「ふぁ～みん」や
ホームページでもご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.ja-hyogominami.com/>

ホームページは
こちらから



組合員・利用者の皆さまの声をJAの運営に反映する取り組み



組合員の皆さまの評価・意見を踏まえたJA兵庫南の取り組み



若手農家の JA 離れが進んでいる。
JA のメリットなどが広く伝わるよう情報提供に力を入れてほしい。

若手農家をはじめ多くの農家に JA の取り組みやメリットを理解していただくため、農家訪問による対面での情報提供に引き続き力を入れてまいります。あわせて、情報提供ツールとして営農情報メールの配信や nimiruJA の利用拡大を図り、より多くの農家へ迅速に情報を発信できる体制の強化に努めてまいります。



将来、高齢で支店に行けなくなった場合、自宅訪問での手続きなど対応してもらえるのか。

高齢などでご来店が困難な場合につきましても、当 JA では現在、職員がご自宅へ訪問して手続きを行っています。お困りの際は、お住まいの地域の支店または担当の渉外担当者までお電話いただければご自宅まで訪問させていただきます。



現在、生協などの事業者が実施している買い物が困難な方に対して、商品のお届けや移動販売車による対応を検討してほしい。また、集客が期待できる場所で、事前告知のうえ出前販売を実施してほしい。

令和7年度については加古川支店前・米田支店前にて出張販売を行いました。地域の皆様から大変好評であり、令和8年度については貯金特化型店舗前での開催も含め、出張販売を行っていきたいと考えております。イベント日等告知をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

